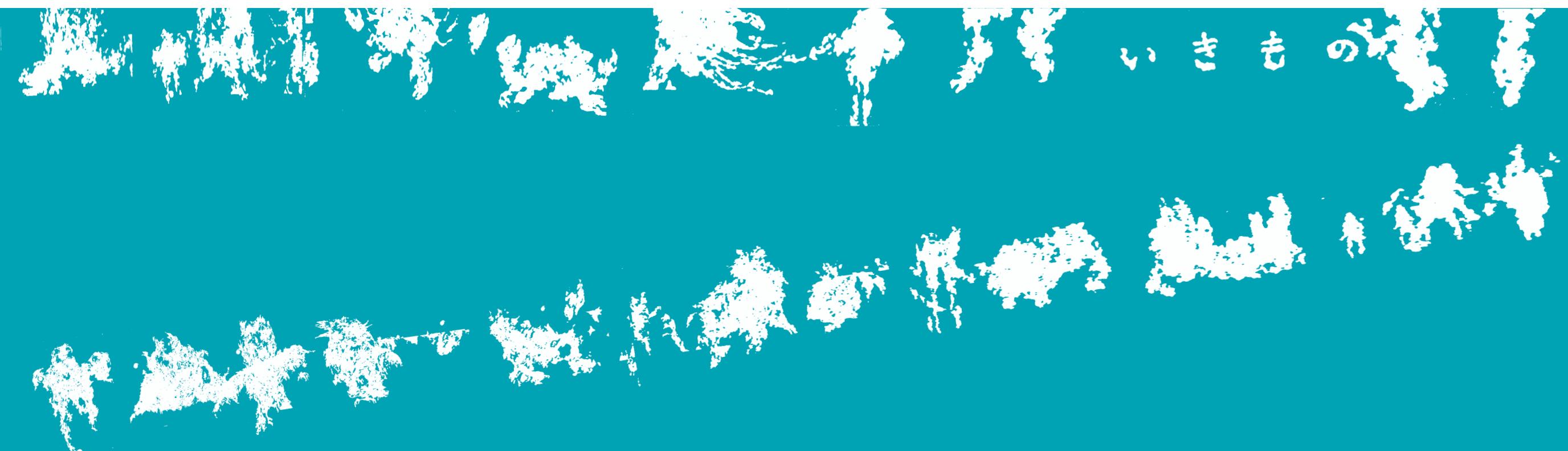


CSR REPORT 2018

豊かな未来を目指す活動報告



加山興業株式会社

本社

〒456-0055 愛知県名古屋市熱田区南一番町15番5号

<http://www.kayama-k.co.jp/>

本書に関するお問い合わせ先

〒442-0008 愛知県豊川市南千両二丁目1番地 TEL:0533-89-0375 FAX:0533-84-3739



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

CONTENTS

SDGs宣言	P1
[特集1]SDGsへの取り組み	P2
[特集2]PCB廃絶	P4
加山興業について	P6
環境への取り組み	P10
お客様との関わり	P12
社会との関わり	P14
従業員との関わり	P19
環境測定結果	P20
第三者意見	P21



持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために世界各国が合意した17の目標と169のターゲットから構成されています。



SDGs宣言

適正・安全・探求をもって
持続可能な社会の実現に貢献します

SDGsでは、全ての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目標とし、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。わたしたち加山興業はこの開発目標に賛同し、社会の一員として、これらの課題に積極的に取り組んで参ります。

加山興業株式会社
代表取締役社長

加山順一郎



加山興業株式会社WEBサイト(<http://www.kayama-k.co.jp>)または
オフィシャルFacebook(<https://www.facebook.com/kayamajapan/>)では
より詳細なCSR活動の取り組みを開示しています。
報告対象期間:2018年度(2017年9月1日~2018年8月31日)



変えるべきコト
変えてはいけないコト
深く考える会社です。

ラオス人民民主共和国。

インドシナ半島中部東寄りに南北に細長く延び、東南アジアで唯一海に面していない国。農業国であるこの国では、豊かな自然はそこに住む人々の暮らしと命を支える大切な資源です。しかし、それを脅かしているのは、住民自らが出し続けるゴミ。

社会の抱える問題を解消し、人々の暮らしを守ってゆかなければなりません。加山興業は適切な廃棄物処理システムの確立に向けて積極的に取り組んでいきます。





PCB根絶に向けて
確実かつ適正な
処理を推進する。

PCB（ポリ塩化ビフェニル）は平成13年に採択されたストックホルム条約（POP'S条約）の付隨書A（廃絶）物質の中のひとつです。平成14年8月に日本はこの条約に加入し、それに伴い国内のPCB全廃に向けてPCB特措法を公布・施行しました。その中で、保管事業者はPCBを平成39年3月31日までに処分しなければならない（高濃度は地域、品目により平成30年～35年3月31日）とされています。しかし、PCBは多様な製品に利用されており私達は先ず、ステークホルダーの皆様が使用・保管されている物にPCBが含まれているかどうかをはっきりさせる掘り起こし調査が必要だと考えました。そこで想いを共有する全国の仲間とともに、一般社団法人日本PCB全量廃棄促進協会（通称JPTA）を昨年5月に発足させ、先頭に立ってPCBの掘り起こし調査に取り組んでおります。ご賛同いただいた企業様・官公庁様より特に蛍光灯・水銀灯安定器掘り起こし調査のご依頼をいただいております。

加山興業について

基本理念

加山興業株式会社は、次世代のための環境保全を最大の責任と認識し、企業活動のあらゆる面で廃棄物の再資源化ならびに環境に優しい処理技術の研究開発に努め、地域社会に貢献すると共に、快適な職場環境の形成のため、安全衛生に配慮した活動を従業員が協力し、健康と安全の確保に努めます。



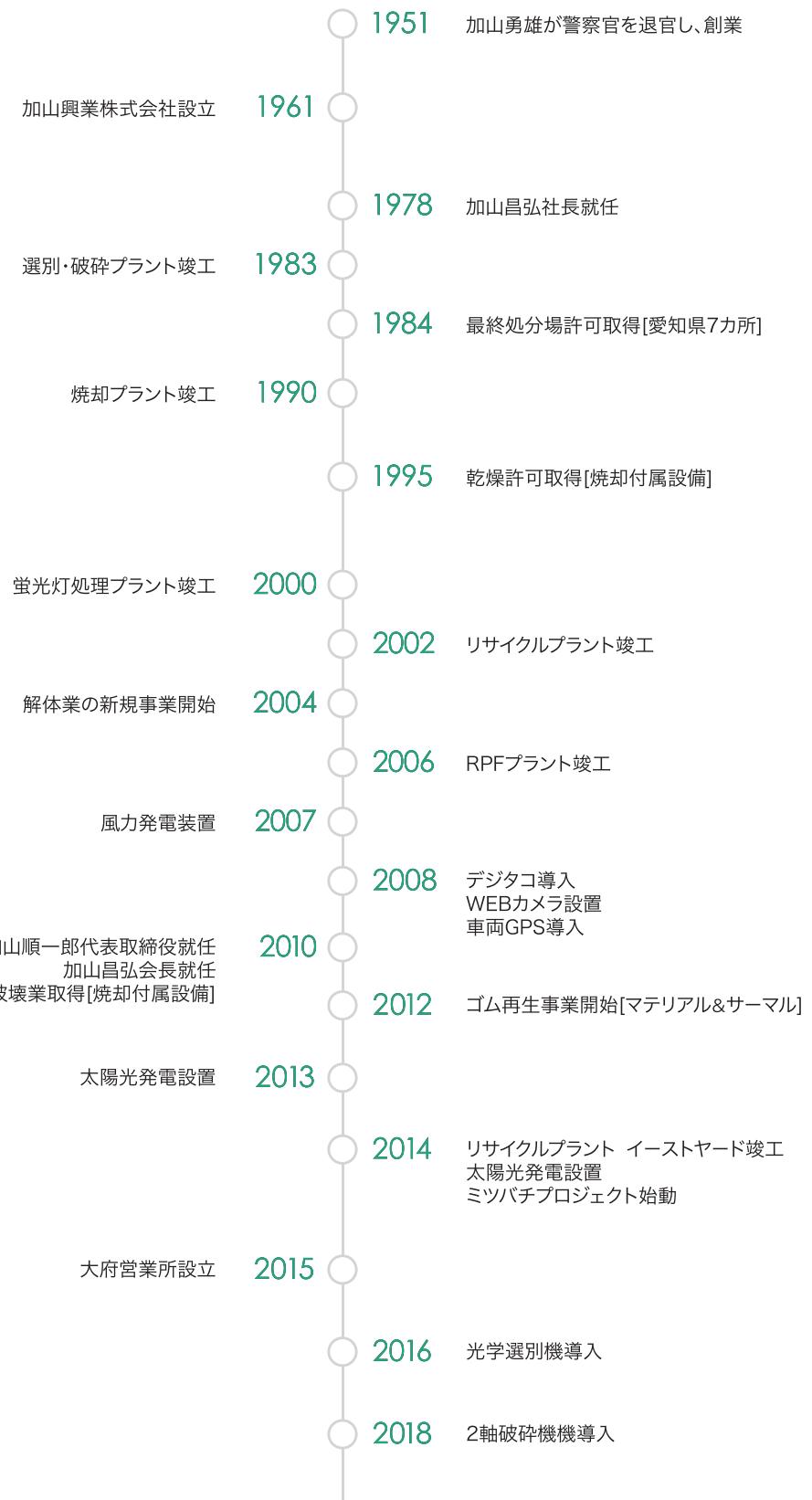
会社概要

社名	加山興業株式会社
代表取締役	加山順一郎
設立	昭和36年11月1日
本社所在地	愛知県名古屋市熱田区南一番町15番5号
資本金	5,000万円
従業員	96名(嘱託社員13名含む / パート・アルバイト・役員除く)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物処分業・特別管理産業廃棄物収集運搬業・特別管理産業廃棄物処分業・一般廃棄物収集運搬業・処分業・解体業・環境機器及び用品販売事業(LED・防災用品)・養蜂事業(ハチミツ販売)
事業所	<p>豊川営業所 愛知県豊川市南千両二丁目1番地 豊橋営業所 愛知県豊橋市南牛川一丁目15番地の10 大府営業所 愛知県大府市北崎町遠山244番地 岐阜営業所 岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通7丁目9番地1号室</p>
取引銀行	愛知銀行/岡崎信用金庫/蒲郡信用金庫/十六銀行/商工中金/豊川信用金庫/豊橋信用金庫/日本政策金融公庫/三井住友銀行/三菱東京UFJ銀行/静岡銀行 他
主な取引先	豊川市/豊川市民病院/豊橋市/愛知トヨタ自動車株式会社/株式会社IHI/オーエスジー株式会社/王子製紙株式会社/積水ハウス株式会社/竹本油脂株式会社/津田工業株式会社/株式会社東海理化/トピー工業株式会社/トヨタ紡織株式会社/株式会社ニデック/日本車輌製造株式会社/パナソニックストレージバッテリー株式会社/イオンリテール株式会社/横浜ゴム株式会社/コニカミノルタ株式会社/三菱自動車株式会社/住友林業株式会社/ヤマハ発動機株式会社 他



豊川営業所

沿革



(※順不同・敬称略)

事業紹介

地球のことを考える企業として環境保全に努め、環境負荷の少ない適切な廃棄物処理業を行なっています。



搬入内訳	
紙くず	57t
木くず	4,101t
繊維くず	291t
廃プラスチック	25,258t
金属くず	736t
ガラス・陶磁器くず	4,730t
がれき類	3,264t
廃油	696t
廃酸	162t
廃アルカリ	24t
動植物性残さ	335t
汚泥	2,335t
蛍光管	101t
建設系混合廃棄物	910t
その他混合廃棄物	7,629t
引火性廃油	122t
感染性廃棄物	442t
一般廃棄物	768t



リサイクル	
廃プラスチック類	1,562t
ガラス・陶磁器くず	215t
紙くず	33t
金属くず	1,557t
木くず	3,783t
がれき類	1,800t
汚泥	1,580t
廃ゴムくず	440t
廃油	183t
ばいじん	182t
燃え殻	404t
RPF	12,152t

埋め立て	
管理型埋立(燃え殻・石綿)	4,818t
安定型埋立	1,878t

施設紹介



粗選別場



手選別室



風力選別機



磁力選別機

環境ソリューション事業



解体



省エネコンサルティング



生前整理・片付けサービス



電力サービスGREENA



破碎機



焼却炉



RPF製造ライン



蛍光灯破碎機



防災用品



KAYAMA蜂蜜



ジャコウネコ珈琲



おしゃべりPuras

環境への取り組み

クリーンなエネルギーの活用でグリーンな地球を守る

加山興業は、次世代のための環境保全を最大の責任と認識し、事業を通じて社会の発展と地球環境保全に貢献してきました。近年では自然エネルギーの活用を積極的に進めており、太陽光パネルを設置による電力供給や100%再生可能エネルギーのGREENaと電力契約を結ぶなど、環境経営の取り組みを進めています。

発電量

太陽光発電
99,942 kw



ストックヤード屋上で運用中の太陽光発電パネル

風力発電

2,711 kw

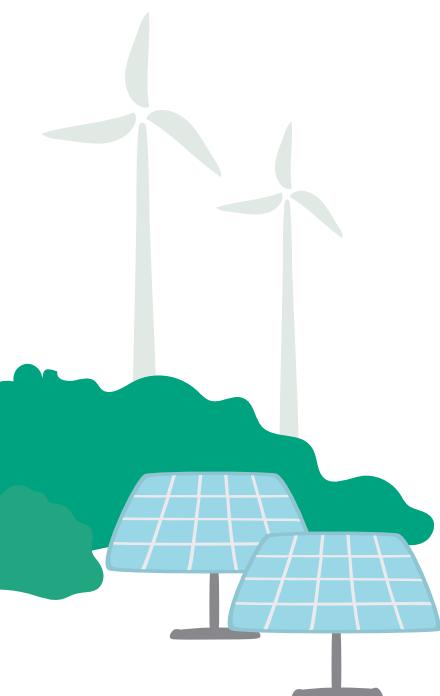
CO₂削減量

太陽光発電

4,477 kg

風力発電

1,301 kg



関連のあるSDGs目標 ▶



環境負荷削減活動の事例

オフグリッド(独立電源)

オフグリッドとは「グリッド＝電力会社の送電網」に繋がっていない電力システムを指します。加山興業ではこれまで、小型の風力発電システムを活用し、RPFプラント屋上の看板照明の電源として使用してきました。今年度は新たに工場内通路に250wの太陽光パネルを設置し、夜間照明をオフグリッドにて運用を開始しました。また、資材置き場にあるコンテナへも太陽光パネルによるオフグリッドを導入し、夜間照明の電源として運用しています。夜間照明器具は長寿命で省エネルギーなLED照明を使用しています。



工場内通路



資材置き場海上コンテナ

その他の環境への取り組み



度島KAYAMAファーム(太陽光発電は2019年より稼働予定)



運搬車・営業車低燃費車両の導入(2030年までに100%達成を目指す)



太陽光発電で行うロックフェス中津川SOLAR BUDOKANへの出店

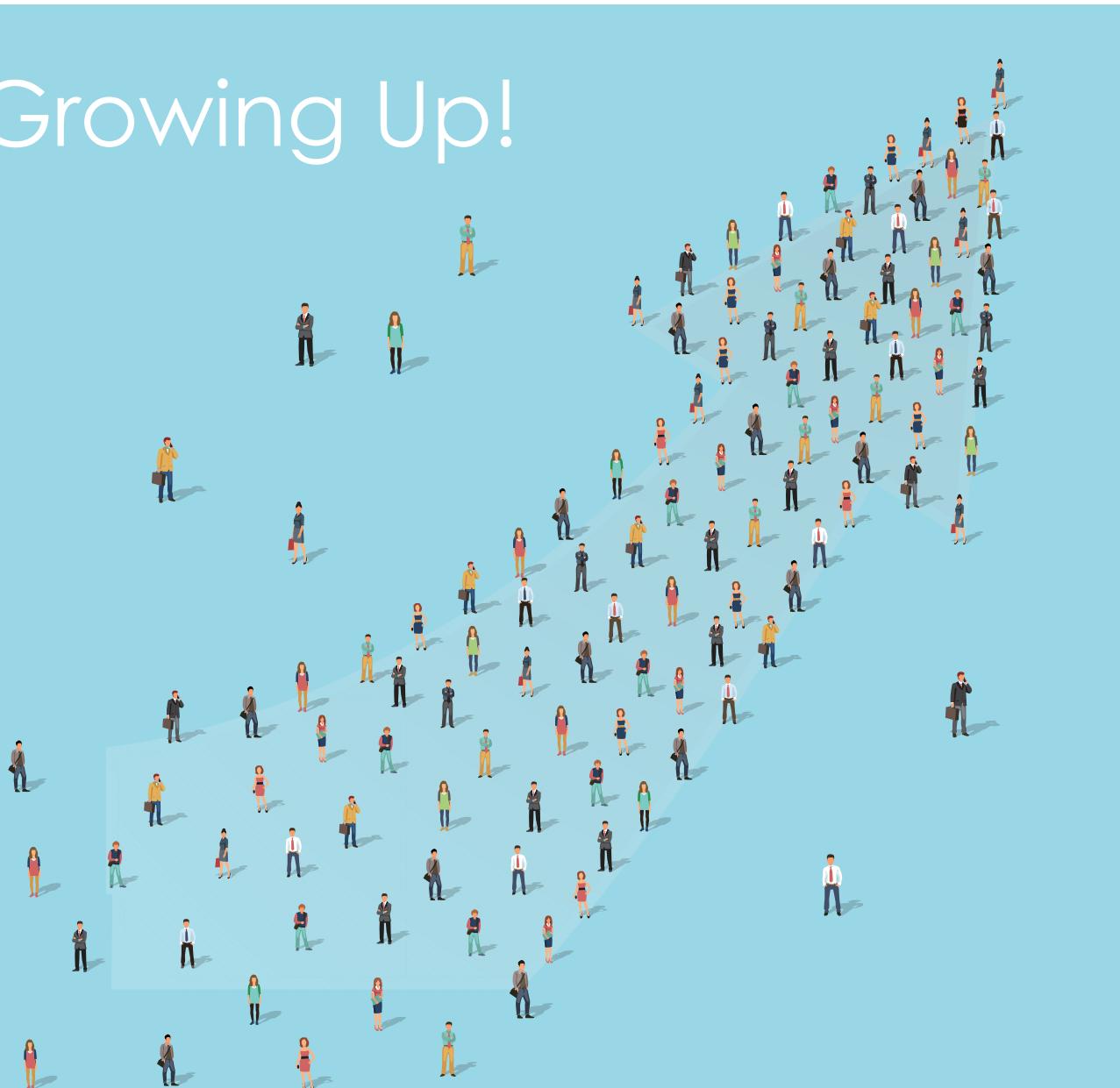


ビーチクリーン&津波防災訓練 [豊橋市・小松原王寿園前海岸]

人と環境を守り、産業を支え、発展させる

「お客様第一主義」で、お客様の期待に応え、またそれを超える製品・技術・サービスを提供することをめざしています。「お客様に最大限喜んでいただくにはどうすればよいか」を常に考え、活動しています。

Growing Up!



2軸せん断破碎機の導入

光学選別の前処理用として米国SSI社製の新型インバータ制御電動駆動式2軸せん断破碎機を導入しました。金属不純物が混ざった混合材料などを処理すること得意として、魚網やスプリングマットレス、ボーリングの玉といった処理困難なものまで受け入れが可能になりました。強力なスマートフィード技術により、金属系の不要物、カーペット、タイヤなどの対象物でも対応が可能です。また、従来の破碎機では処理が難しかったり、1時間も必要だったものが10分程度で処理できるようになり、業務の効率化とリサイクル率の向上の一助となっています。

廃棄物受け入れ待機場の拡充



計量までお待ちいただく待機場を拡充しました。これにより、これまでよりもスムーズに計量へとご案内できるようになりました。

エコロクルロゴをリニューアル



繰り返し使用することができる砂時計アイコンを使用しています。キャッチコピーの「THINK&SELECT」は選りすぐった商品を販売していることお客様には良いと思って購入していただきたいという思いが込められています。

社会との関わり

関連のあるSDGs目標 ▶



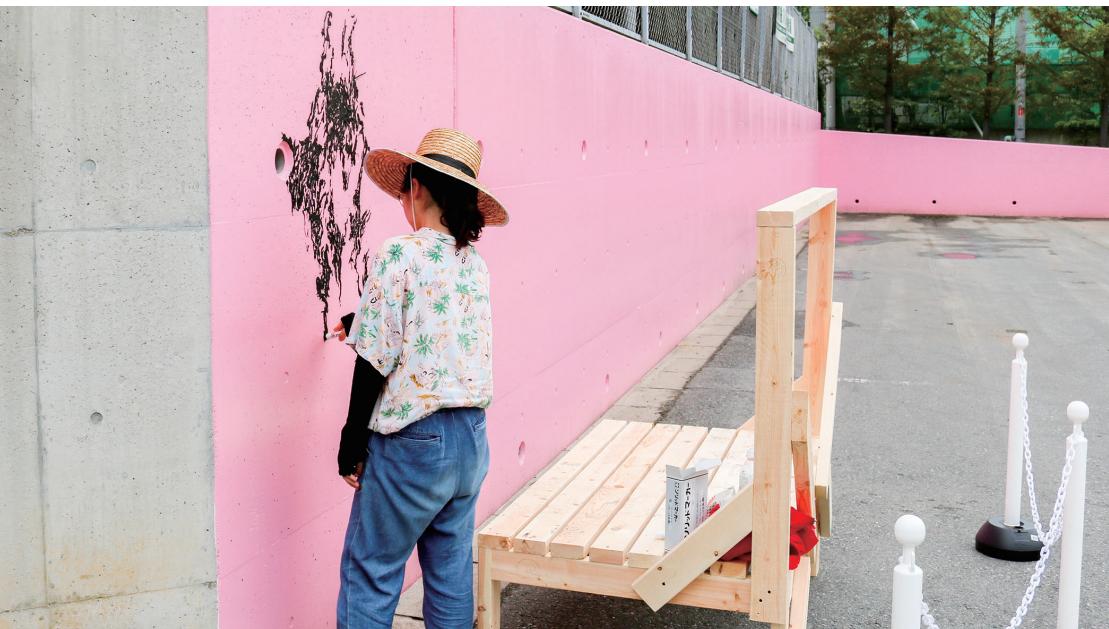
地球・社会との共存に挑戦し続けます

社会へ貢献していくことが企業としての使命であると捉え、地域貢献・ボランティア活動、文化・スポーツ支援、教育支援など様々な取り組みを行なっています。ステークホルダーの皆さまとの関わり大切にし、豊かな社会の実現に貢献していきます。



工場見学

毎年継続的に施設・工場見学会を実施しています。ご希望いただいた皆様（団体・グループ単位）の工場見学を受け入れています。



壁画プロジェクト

環境を守ることの重要性と環境問題に対する加山興業の取り組みを社会にお伝えするべく、この壁画プロジェクトは企画されました。企画内容に応じていただいたのは愛知県立芸術大学大学院1年の現代アートを専門とする大東忍さんです。テーマは「いきもの」。猛暑の熱に負けないくらい力強く、迫力ある躍動するいきものたちを描いてくれました。目を凝らして見るいきものたちと目があったように感じられます。忙しい毎日の中でふと歩みを止めて、考えると見えてくるもの。弊社が伝えたいメッセージとテーマにぴったりとあった壁画となりました。



スポーツ・文化振興

B.LEAGUE 所属のプロバスケットボールチーム、三遠ネオフェニックスの冠試合のスポンサーをはじめとして様々なスポーツ・イベントに参加しています。次世代を担う子どもたちに夢や感動を与え、明るい社会づくりをめざしてこれからもスポーツ・文化振興活動を推進してまいります。



環境教育授業

豊川市の小学校を中心に環境教育の出前授業を行なっています。授業内容はゴミの分別やリサイクルなどに関するもので、ゴミに関するクイズをしたり、分別ゲームをしたりしながら、体験しながら学ぶ授業です。

加山興業は「次世代のための環境保全」を最大の使命と考えています。環境教育の出前授業はこの使命を果たす上で重要な活動です。

幼い頃の知識や体験は人生の礎となります。未来を担う子どもたち自身が未来の地球環境を守ること、また、守るためにすべきを考え、行動してくれることを期待しています。



職業体験・インターンシップ

職業体験をしてもらい、地域の学校教育のキャリア教育の支援をする活動です。職場体験学習(小・中学生)、インターンシップ(大学生)の受け入れを積極的に行ってています。

ミツバチプロジェクト & KAYAMAファーム

このプロジェクトは廃棄物処理による環境への影響を不安に感じる地域の方に安心の証をお届けするためのプロジェクトです。行動範囲が限られていることから環境指標生物と呼ばれるミツバチ。ハチミツに有害物質が含まれていないかを分析し、私たちの事業活動が周辺環境に悪影響を与えていないかを分析しています。

また、ハチミツの採集会には地域の方たちをお招きして地域交流を深めています。採蜜体験と合わせて、ミツバチの習性や生態系における役割を紙芝居を作り、わかりやすく説明してお伝えしています。広く地域の皆さんに生物多様性への関心を持ってもらう大変重要な場ともなっています。



カーボンオフセット

ミツバチプロジェクトで採れた蜂蜜は、採取活動や容器製造にともなうCO₂排出量をゼロにしてカーボン・オフセットしています。このオフセットの仕組みを通して蜂蜜の販売価格の一部を地域の森林保全に寄付することで、地域の森林保全と温暖化対策に貢献しています。





安全衛生委員会にてスタッフの身体の負荷軽減の為、作業着を選定し直しました。

その際に今まで活躍していた作業着をどうするか?

弊社では「もったいない」の精神の活動に賛同し、リユース(3R)の活用を選択しました。

防災倉庫



企業の役割として近隣の皆様との共存、繁栄が必要と考えます。

万が一の被災時に地域の皆様、弊社スタッフが最低限の生存を確保する為に防災トイレ、防寒具、食料、電力を確保出来るよう微小ながら防災倉庫を設置致しました。

その他の社会貢献活動

- ・食糧支援・植樹貢献
- ・ワクチン支援(ペットボトルキャップ回収・回収拠点)
- ・国境なき医師団への寄付
- ・中部盲導犬協会への寄付
- ・不法投棄撤去
- ・地域清掃活動



地域清掃活動

従業員との関わり

共に成長するために

関連のあるSDGs目標 ▶



従業員一人ひとりが個性を活かし、意欲的に業務に取り組むことができるよう、多様性を尊重した働きやすい職場づくりや社員の能力開発などに取り組んでいます。



動きやすいようにストレッチの効いたユニフォームに変更



産業廃棄物処理検定の取得支援



安全衛生教育として労災事故体験講座を受講



初期消火のために消火器・消火栓の取り扱い訓練を実施



もしもの事態に備えてAED講習を受講



ダイバーシティの推進

環 境 測 定 結 果

焼却炉排ガス測定結果

[採取場所:焼却炉集合煙突]

試料採取日	H29.1.31	H29.12.21	H30.5.31	
結果が得られた日	H29.2.16	H30.1.12	H30.6.8	
測定項目	ばいじん (g/m ³ N)	<0.002	0.0087	0.002
	硫黄酸化物 (m ³ N/h)	<0.01	<0.009	<0.01
	窒素酸化物 (ppm)	47	180	110
	塩化水素 (mg/m ³ N)	28	10	14
	Co (%)	0	0	0
	ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	—	—	—
	水銀 (mg/m ³ N)	0.2	1.6	0.36

運転中連続測定結果 燃焼(全て980°C以上) / 排ガス(全て130°C以下) / 排ガスCO(全て100ppm以下)

燃え殻の溶出試験結果

[採取場所:GB4000]

試料採取日	H29.2.10	H29.8.22	H29.8.22	H30.3.3
結果が得られた日	H29.2.21	H29.9.6	H29.9.14	H30.3.19
測定項目	アルキル水銀 (mg/L)	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	—
	水銀 (mg/L)	<0.0005	<0.0005	—
	カドミウム (mg/L)	<0.003	<0.003	—
	鉛 (mg/L)	<0.02	<0.01	—
	六価クロム (mg/L)	0.04	0.13	—
	ヒ素 (mg/L)	0.01	<0.01	—
	PCB (mg/L)	<0.0005	<0.0005	—
	セレン (mg/L)	<0.01	<0.01	—
	熱灼減量 (%)	—	—	—
	ダイオキシン類 (ng-TEQ/g-dry)	—	—	0.88

[採取場所:GB12000]

試料採取日	H29.2.10	H29.8.22	H29.8.22	H30.1.11	H30.3.3
結果が得られた日	H29.2.21	H29.9.14	H29.9.14	H30.3.8	H30.3.19
測定項目	アルキル水銀 (mg/L)	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	—	ND(<0.0005)
	水銀 (mg/L)	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005
	カドミウム (mg/L)	<0.003	<0.003	—	0.059
	鉛 (mg/L)	<0.01	<0.01	—	<0.01
	六価クロム (mg/L)	0.05	0.04	—	<0.04
	ヒ素 (mg/L)	0.04	0.01	—	0.03
	PCB (mg/L)	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005
	セレン (mg/L)	<0.01	<0.01	—	<0.01
	熱灼減量 (%)	—	—	6.2	—
	ダイオキシン類 (ng-TEQ/g-dry)	—	—	0.94	—

第三 者 意 見

なぜラオス?なぜ蜂蜜?

廃棄物処理業は公益事業である。我々が日々出しているごみを処理してくれるありがたい職業である。人間である限り、必ずお世話になる。

加山興業さんは東三河になくてはならない企業である。加山興業さんの工場がストップしてしまったら、愛知県中の企業・自治体がパニックを起こしてしまう。考えただけでも恐ろしい。日々刻々と変化する廃棄物を相手に、常に工場を操業させなくてはならない。大変な努力である。でも、頑張ってもらわないといけない。

さらにSDGsである。世界的な課題であるSDGsに東三河の一企業が立ち向かっている。ラオスでの廃棄物処理はラオスという国を大きく変えようとしている。決して遊びではない。海外での事業展開である。ものすごいパワーである。こうした企業のまじめな努力があるからこそ、世界中の国々が日本を尊敬してくれている。

なぜ蜂蜜?話題作り?経営多角化?いや、生物多様性である。自分たちの事業活動のモニタリングである。気まぐれな社会貢献ではない。筋がきちんと通っている。多くの人に加山興業さんの活動を知ってもらいたい。関心がない人にこそ知ってほしい。私は、加山興業さんの活動には感謝と驚きと尊敬の念をもって見ている。今後も見守り続けたい。



東洋大学
情報連携学部 情報連携学科
後藤尚弘

